

DSA&IPA 第3回データ未来会議



データ連携基盤等を活用する 事例創出に向けた実践アプローチ

兼松株式会社

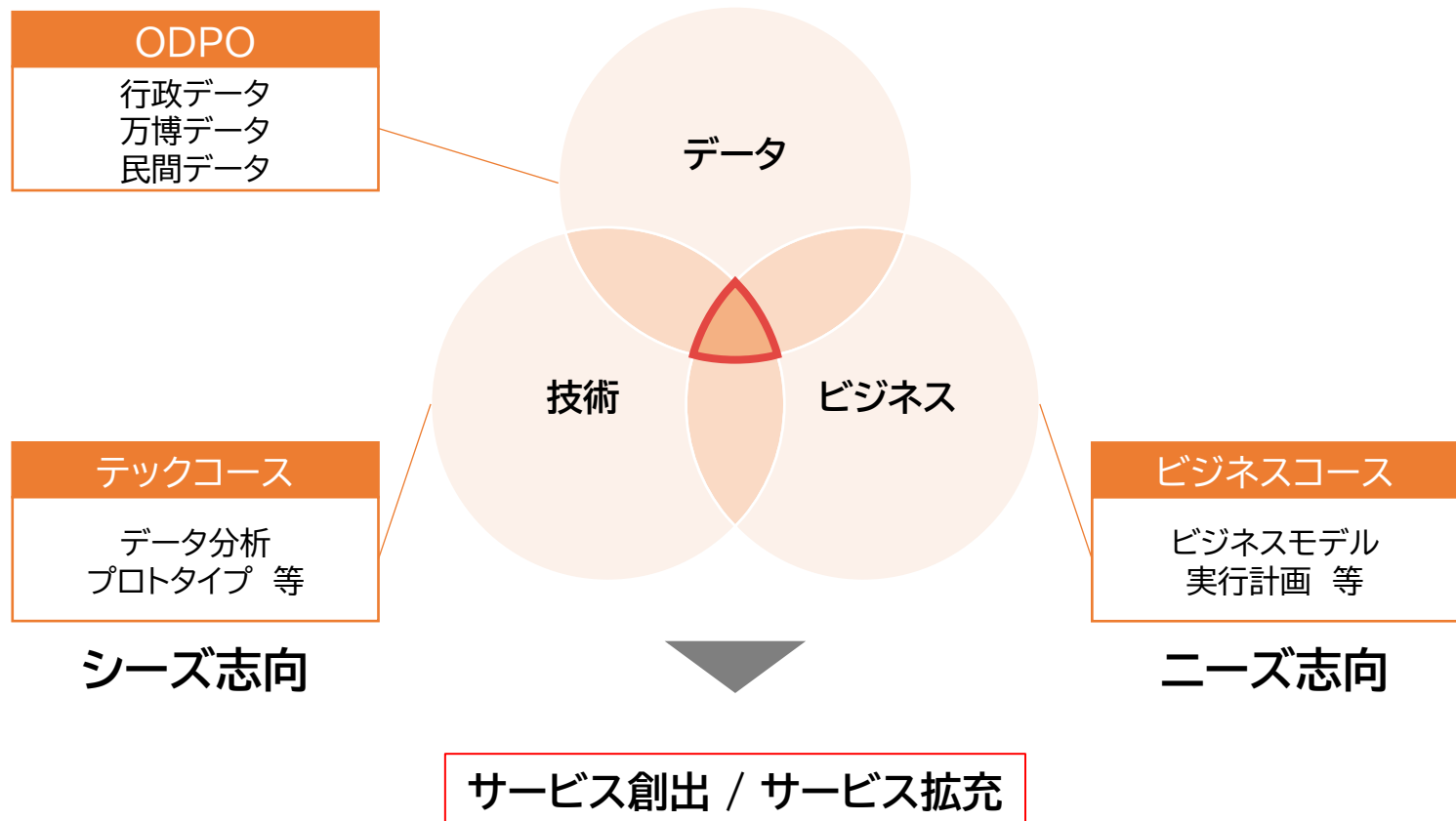
電子統括室 新事業創造課

2025年3月18日 (水)

© KANEMATSU CORPORATION All Rights Reserved

Purpose (1)

OSAKAイノベーションデータラボは、データ・技術・ビジネスの三位一体でサービス創出を目指すプログラムであり、ニーズとシーズの両面からサービス化に取り組む。観光・防災・交通などをテーマとして設定して、民間企業がテックコースとビジネスコースに分かれて、データ連携基盤 [ODPO] を活用しながら事例創出を目指す。



テーマ

1. 観光
2. 防災
3. 交通
4. その他(ヘルスケア・まちづくり・教育・子育て等)

主催： 大阪府
共催： 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会
後援： 大阪スマートシティパートナーズフォーラム
公益社団法人関西経済連合会、
一般社団法人データ社会推進協議会
運営事務局： NTT西日本株式会社、エブリセンスジャパン株式会社、
一般社団法人生成AI協会、兼松株式会社

Purpose (2)

一般的なハッカソンと比べると、実際にデータ利活用できる環境やサービス横展開に向けて踏み込んだ事業開発プログラムであることが特徴的である。
この実現に向けて、大阪府等を中心に官民連携による各種サポートを提供することで、プログラム参加者に対して事業成長の機会を提供する。

官民連携の「枠組み」による 事業成長



- データ活用のパートナーの獲得機会
- 優秀者選定後の成果や実装状況に応じた、大阪府からの補助金獲得
- 大阪府・府内市町村等の関係部局とのマッチング支援
- プログラムで生まれるコミュニティによる異業種・大学等とのネットワーク構築から事業連携の機会創出

データを「武器」にする



- 大阪広域データ連携基盤に掲載される各種データの利活用が可能
- データ利活用コンサルによる継続的なデータサイエンスに向けた支援
- データ取引の機会提供

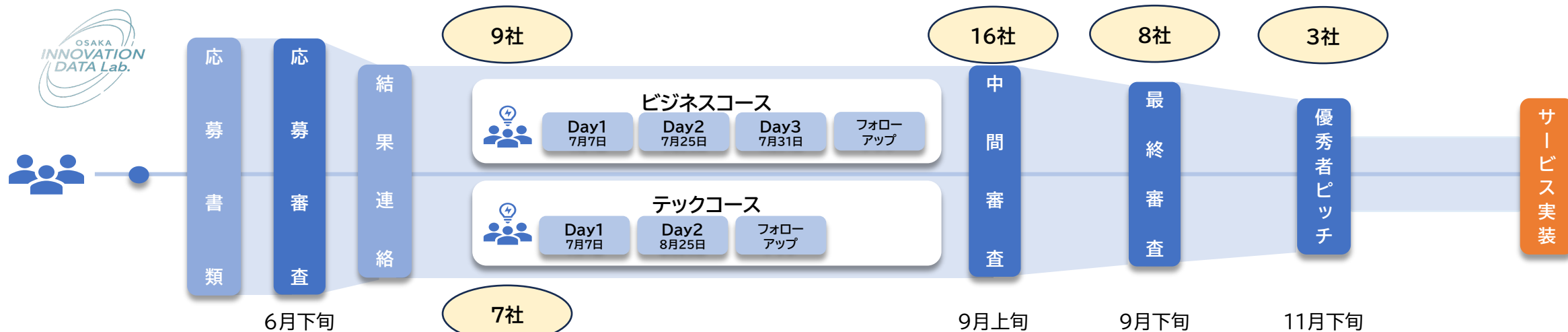
大阪府という「場」を活用した 認知向上



- ピッチイベントや優秀者ピッチを通じた対外的な発信機会の創出
- 府や運営事務局等を通じたイベント及び広報による認知度向上
- OSAKAイノベーションデータラボへの参加者として信頼性やブランド価値向上
- データ連携基盤のサービスカタログへの情報掲載

プログラム参加者の最終ゴール：2025年度内でのデータ利活用アイデア・プロトタイプの実装

コース	本プログラム期間中における主な支援内容	対象者
ビジネスコース	ビジネスモデル、実行計画等の具体化	<ul style="list-style-type: none"> データ活用に関する事業計画等を短期間で整理したい方 データ活用により既存サービスの事業拡大をめざしたい又は課題がある方 サービスのテスト版（β版等）の事業化に課題がある方
テックコース	プロトタイプ開発における生成AI活用手法など	<ul style="list-style-type: none"> AI×データの開発技術を習熟し、短期間でサービス開発に取り組みたい方 データ活用により既存サービスの機能改善をめざしたい方



①応募フェーズ

1. どちらかのコースを選択
2. 事業アイデア等を記入した「応募書類」を作成

②本戦フェーズ

各コースの支援を通じ、アイデアの完成度・実現性を高めプレゼン審査へ挑む

③伴走支援フェーズ

優秀チームは優秀者ピッチで取り組みやサービスを発信
優秀賞受賞者は伴走支援を通じて年度内の実装をめざす

Results

優秀者は、大阪府による補助金交付や運営事務局による伴走支援を通じて、最終的なサービス化を目指したところ、自治体等とアプリケーションの実証事業に至る。対象となるサービスは、今後、大阪府によりサービスカタログに掲載予定であり、ORDENとの連携サービスとして、他の自治体や民間事業者へ提案する。

	企業/団体名	テーマ	企画名称
	サグリ株式会社	まちづくり、土地利用、脱炭素、地域経済活性化	衛星データ×GISによる持続可能な土地活用基盤の開発
	スタンシステム株式会社	農業	農業DXを実現する農業支援SaaSの展開
	株式会社竹中工務店	防災	地域防災エージェントアプリ「たのんまっせ防災くん」(仮称)



サグリ株式会社

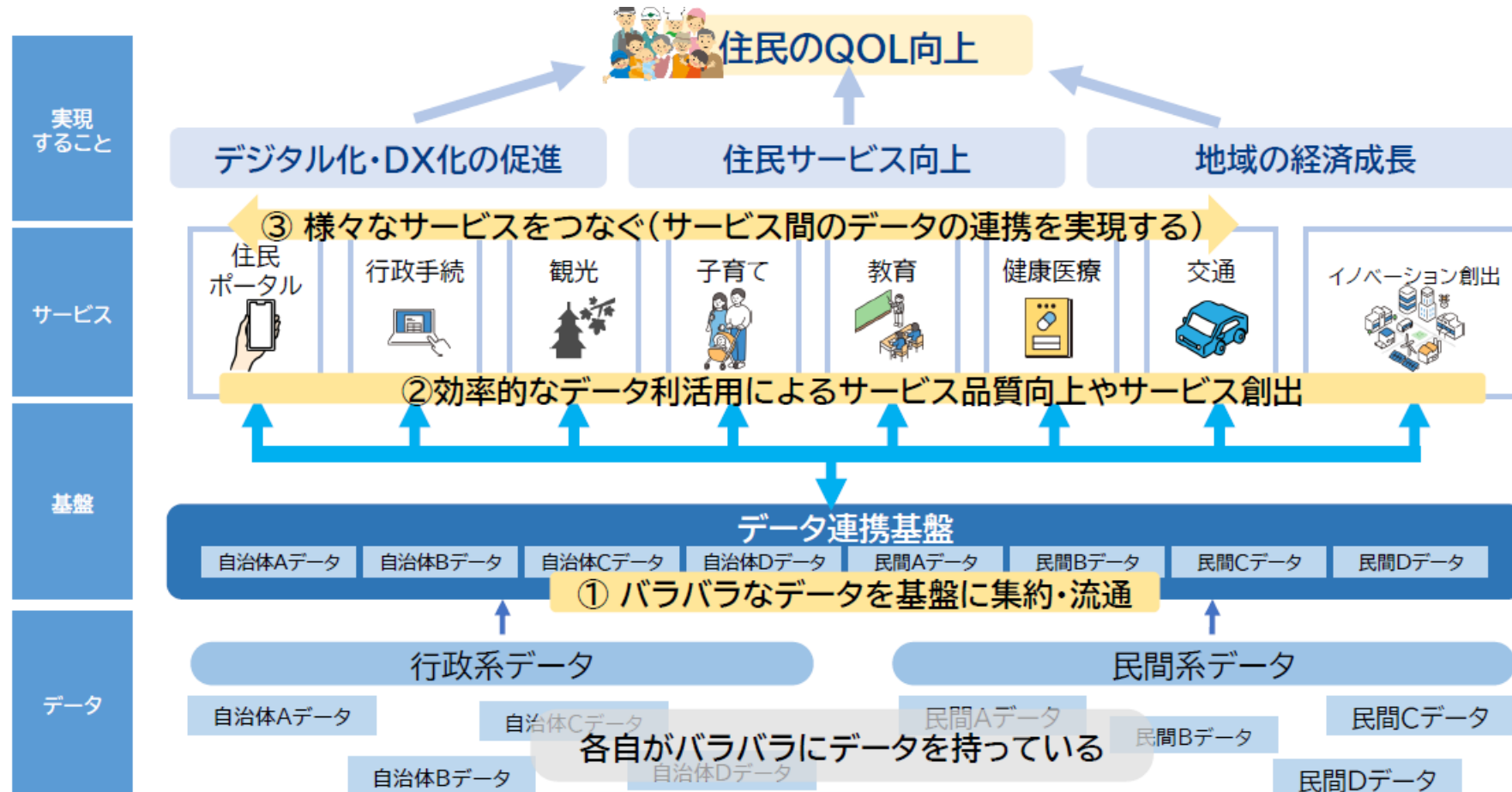


株式会社竹中工務店

スタンシステム株式会社

Summary

- 国の方針に沿ってデータ集約や流通は、加速していくため、データ利活用によるサービス創出が最も重要である。
- 目的志向を持って、潜在顧客層のバーニングニーズを捉えたプロトタイプ開発を「OSAKAイノベーションデータラボ」を通じて提供することによりサービス創出を加速。
(=「住民のQoL向上」に資するデータ連携基盤を目指す)



An aerial, black and white photograph of a city square. The central focus is a large, ornate building with a prominent dome, likely a historical or government building. To the right, a large train station with multiple tracks and a covered platform is visible. The square is paved and contains several trees, a circular fountain or well in the foreground, and a tennis court in the lower-left corner. The overall scene is captured from a high angle, showing the layout of the urban space.

ご清聴ありがとうございました。